

# 全道制覇V



キャプテン 高橋 諒希 選手

昨年の冬、僕たちは練習や試合でミスが続き、どのチームにも勝てない時期がありました。その時、試合をするのが怖くて、ミスをしたらどうしようと思ってしまう。勝てなくなると僕たちのため、監督が「チームを一から立て直そう」と合宿をしてくれ、基礎から練習し、一人ひとり苦手な部分をマンツーマンで教えてもらいました。合宿をしてくれた監督、コーチ、保護者の方々は感謝の気持ちでいっぱいです。そのような時期を乗り越えたからこそ、みんなが一つになって少しずつ勝てるようになり、全道優勝をなしたと思っています。

僕はキャプテンなのに、試合のときチームで一番緊張してしまい、みんなによく笑われます。はじめは他のチームのキャプテンのように、もっとなんかやらなきゃと悩んだときもありましたが、チームのみんなに支えられ、今まで頑張ってきたことができました。僕たちのチームは、一人ひとりが役割を果たし、全員野球ができるチームです。今まで野球をやってきた、たくさんのお話を学びました。それは仲間の大切さとかくさんの人の支えで、僕たちが野球を続けられるということ。僕たち6年生は、もうすぐ少年団を卒団し、これからはみんなバラバラのチームで野球をすることになりますが、残り少ない時間を大切に、これから監督、コーチと共に僕たちらしく全力で戦っていきます。

7月26日(金)～31日(水)札幌コミュニティドームで開催された第42回全道少年軟式野球大会で「赤平レッドレイズ」が出場全26チームの中、見事勝利し、全道制覇を果たしました。この大記録は赤平市の少年野球チーム史上初となる快挙です。

## 試合結果

- 1回戦 6-1 岩見沢東ブラックベアーズ(南空知)
- 2回戦 12-0 稲穂スラッガーズ(小樽)
- 準々決勝 7-1 上磯有川(函館)
- 準決勝 8-3 あいの里バイソンス(札幌)
- 決勝 9-7 標茶ジャイアンツ(釧路)

## 赤平レッドレイズの皆さんおめでとうございます



(上段左から)・西原コーチ・萩原コーチ・萩原監督  
 (中段左から)・村上選手・谷(侑)選手・金丸選手・磯貝選手・日景選手・加藤(勇)選手・岩岡選手  
 (下段左から)・谷(直)選手・坂本選手・清水選手・西原選手・高橋選手・加藤(称)選手・田原選手